

かちゅうらいぶらい

令和6年9月発行
加賀田中学校図書館

暑かった夏休みが終わり、季節は少しずつ秋へ移ろうとしていますね。
図書室には、新しい本がたくさん届きました。
まだまだ残暑きびしい日中ですが、秋の夜長に読書をどうぞ。

夏休み貸出をした本は、
忘れずに返却してください。



9月 としょかんカレンダー							2024年 かちゅう
月	火	水	木	金	土	日	
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30							

学校図書館の蔵書システムが更新されました。
クロームブックのL-gate 教材・アプリに 『学校図書システム』 (加賀田中学校)のアイコンがあります。そこから新着本の情報や、貸出状況、ランキングなどが見ることができます。

新着本の紹介

『クスノキの女神』 東野圭吾・著 実業之日本社
不思議な力を持つクスノキと、その番人の元を訪れる人々が織りなす物語。神社に詩集を置かせてくれと頼んできた女子高生の佑紀奈には、玲斗だけが知る重大な秘密があった。一方、認知症カフェで玲斗が出会った記憶障害のある少年・元哉は、佑紀奈の詩集を見てインスピレーションを感じ…。



『君のクイズ』 小川哲・著 朝日新聞出版
クイズ番組「Q-1グランプリ」決勝に出場した三島玲央は、対戦相手・本庄絆が一文字も問題が読まれぬうちにボタンを押し正解し、優勝を果たすという不可解な事態を訝しむ。いったい彼はなぜ正答できたのか？番組のヤラセを疑う出演者たちは、その真実にたどり着けるのか…。



『人間みたいに生きている』 佐原ひかり・著 朝日新聞出版
食べることそのものに嫌悪を覚えている女子高生・三橋唯。「食べること」と「人のつながり」はあまりに分かちがたく、孤独に自分を否定するしかなかった唯が、はじめて居場所を見つけたのは、食べ物の臭いが一切しない「吸血鬼の館」だった。みんなが口をそろえて「幸せだ」という行為を幸せと思えず、ひとり孤独に苦しんできた少女の成長を描く青春小説。



『バッタを倒すぜアフリカで』 前野ウルド浩太郎・著 光文社
日本、モーリタニア、アメリカ、モロッコ、フランス…。世界中を飛び回り、13年にわたり重ねてきたフィールドワークと実験は、深刻な食糧危機となるバッタの大発生を防ぐ可能性を持っていた。その研究内容を明らかにする。『バッタを倒しにアフリカへ』の続編。



『考古学者が発掘をしていたら、怖い目にあった話』
大城みちのり・著 ポプラ社
エジプト、ペルー、中国…。大陸をまたにかける、考古学者の古代ロマン・不思議体験記。生身の人間から死臭残るミイラや人骨まで、海外の考古学調査を行うなかで体験した日々の恐怖・驚愕・奇々怪々のエピソードを綴る。

